

2016年2月23日

分会執行委員長 様

福祉保育労大阪地方本部
執行委員長 多久和 令一

福祉職場で働く仲間の頸腕・腰痛やストレスアンケート結果の活用について

連日のご奮闘に敬意を表します。

さて、福祉保育労中央本部で全国の仲間呼びかけて2014年10月から12月に取り組んだ「福祉職場で働く仲間の頸腕・腰痛やストレスアンケート」の調査結果報告書を送付します。調査結果をみると6割の労働者が頸腕に、4割の労働者が腰痛をかかえ、5割の方が通院している等、深刻な健康状態が浮き彫りになりました。

是非この調査結果も活用して職場の健康対策の充実を施設に要求するなど取り組みの強化をお願いします。つきましては、下記の事項について分会で取り組んで頂くようお願いいたします。

記

1. 分会・班で健康問題について討議をおこない、健康問題対策の担当者を配置して下さい。
2. 施設や法人との交渉で福祉労働者の深刻な健康状況を明らかにし、職場に「衛生推進員」配置と健康対策の充実を要求しましょう。また、職員が50人以上の職場については「労働安全委員会の設置」や「産業医の配置」、「メンタルチェック」を確実にこなわせましょう。

以上